



社報

北相模総守護社
亀ヶ池八幡宮

龜ヶ池



第3号 [平成19年7月1日発行]

発行／亀ヶ池八幡宮社務所
〒229-1123 神奈川県相模原市上溝1678
TEL.042-751-1138 FAX.042-757-3811
URL <http://www.kamegaike.jp>
E-mail : info@kamegaike.jp



境内国旗掲揚塔



祝祭日には国旗を 掲げましょう

いちよう



昨年十一月、神奈川県神社庁設立六十周年記念大会の時、講演された台湾台北出生で、日本国内でもテレビ・新聞・雑誌等において教育・社会・政治など幅広く提言・活動されている金美齡氏のお話の中で、四方を海に囲まれ春夏秋冬と四季がこれほどはっきりとした国は日本だけであり、この美しい国・日本で暮らす日本人が国を愛する心「愛国心」を論ずると、やれ右翼だとか保守派だとか言われるが故に純粋に国を慕い国土を愛する人が引つ込み思案になってしまう。このような国民は他に類を見ないと言われました。また、戦後経済大国となった日本は、五ツ星いや六ツ星の扱いを受け(台湾は一ツ星とか)世界中ビザ無しでも旅行ができ、なんとも幸せな国民だとも言われました。

日本人としての自負心はどこかに行ってしまったのでしょうか。

天皇皇后両陛下が行幸敬なされる時、自然と国旗(日の丸)を振る光景は悠久の日本を実感できて微笑ましい限りです。

日本人たる私たちはこの美しい国土を愛し、自信と誇り・希望を懐いて、国旗を大切にし祝祭日にはご家庭の門戸に「日の丸」を翩翩と翻させたらどうでしょうか。

初詣 賑わう御社頭



平成十九年正月は高気圧の張り出しにより、全国的に穏やかな天候に恵まれ全国津々浦々の神社は老若男女・善男善

女の初詣で大変な賑わいとなりました。

当亀ヶ池八幡宮では、昨年九月に東駐車場が完成し、更に近隣各位(全農ミート(株)様・JA相模原市様等)のご好意により駐車場を確保でき、ご参詣者皆様にはご心配ご迷惑をお掛けすることもなく安心してご参拝できたものと存じます。ここにこのご好意に対し、深く感謝申し上げますととも
に、初詣にお参りくださいました皆様方の家内安全・社運隆昌と益々のご健勝ご活躍を祈念いたします。



節分祭齋行



一足早く梅が咲く二月三日、恒例の節分祭が好天の下盛大に行われ、福を得ようと大勢の参拝者で賑わいました。祭

典には多くの年男年女が参列しお祓いを受け、追儺台を力強く打ち鳴らし、赤鬼青鬼を退散させた後、神楽殿回り舞台から「福は内・鬼は外」と大きな声を発しながら「豆撒きが行われ、景品引換券が入った福豆袋を授かる」と大勢の参拝者で、境内は歓声と熱気に包まれました。
福物をご協賛いただきました氏子崇敬者各位には誌上より厚く御礼申し上げます。

神社参拝研修旅行

―日光二荒山神社正式参拝―

去る三月二十六日・二十七日に、当八幡宮の役員総代世話人研修旅行を実施し、二十七名の方々が参加されました。この旅行は各地の神社を参拝見学するとともに、相互の親睦を深め神社護持に理解協力することを目的として、毎年執り行われております。

当日早朝、当八幡宮社頭で旅行安全祈願をして一行は出発しました。途中渋滞もなく予定通り日光二荒山神社に到着しました。日光男体山を御神体と仰ぎ祀り、世界文化遺産に登録されております。

御社殿はじめ、五年有余の歳月と七億余万円を費やし完成したばかりの御神橋を渡り、感激に浸りながら日光二荒山神社に昇殿し正式参拝をいたしました。引き続き広い境内の諸社・建物を見学、また日光東照宮を参拝し、早春の日光を堪能した一行は川治温泉にて一日の疲れを癒し夜の宴で親睦を深めました。



翌日は前日の緊張感から開放され、テレビでお馴染みの日光猿軍団を見物、茶目つ気たっぶりの猿の演技に大爆笑でした。続いて竹久夢二美術館に立ち

寄り大正時代に浪漫を追求した天才画家「竹久夢二」の情緒と哀愁ただよう作品の数々を見学し帰途に着きました。今回の研修旅行が意義あるものであったことと拝察し、今後当八幡宮の諸行事・諸事業にご尽力賜りますようお願いいたします。

守れ! 文化財

日本は往古より木造り文化です。住居はじめご社殿また神像・仏像等々、木で作られているものに囲まれています。昭和二十四年一月二十六日に法隆寺金堂壁面が焼損したことから、昭和三十年に「文化財防火デー」が定められました。

当八幡宮では一月二十五日、本殿より火災が発生したとの想定で行われ、消防署への通報や参拝者の避難誘導、文化財の搬出等が行われ、職員がそれぞれの役割を果たしました。相模原市消防本部上溝分署と田名分署の協力のもと、本殿への放水訓練また救命救急訓練も行われました。
「火災はあつてはならないが、いざという時のために訓練も必要。大切な文化財等を守る意識が深まった」と宮司は話していました。



伊勢神宮式年遷宮奉賛会 神奈川県本部設立総会開催

(財)伊勢神宮式年遷宮奉賛会神奈川県本部設立総会が六月十四日、横浜ロイヤルパークホテルで開催され、県内の神社関係者、商工会議所や農業協同組合の代表者など約三百人が出席しました。

総会は午後四時に開会となり、設立発起人を代表して吉田茂穂神奈川県神社庁長が挨拶され、議事に入りました。募財目標並びに事業計画などが承認され、役員選任では県商工会議所連合会の上野孝会頭が本部長に、副本部長には



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

県神社庁吉田庁長、

県神社総代会連合会

斎藤文夫会長、県神

社庁相原罔彦・石川

正人両副庁長が選ばれました。

本部長就任を受けて上野孝会頭は「二人でも多くの県民に遷宮奉賛の趣旨に賛同いただき、目標の募財達成に邁進しなければならぬ」と決意を述べ、支援と協力を要請されました。

今後、遷宮奉賛会相模原支部総会を開催し、支部内各神社関係者をはじめ、商工会・農協の方々にも多大なご理解ご協力を賜り市民挙げて奉賛の赤誠を賜りたいと存じます。よろしくお願いいたします。



園児送迎バス 安全祈願祭斎行



地球温暖化の影響でしようか、桜の開花もいつもより早く感じられましたが、恰も日本の伝統的な春の入園学式を祝うかのようになり満開になりました。

さて、陽光台に開園以来特色ある園児教育に邁進しております。虹ヶ丘幼稚園は、入園式を目前にした佳き日に神前に額づき安全祈願祭を斎



行し、送迎バスの清祓をして一年間の無事故と園児たちの健やかなるご成長を祈願されました。

当八幡宮新総代 就任の報告



小林 亮氏



清水 亨氏

小林亮氏は、昭和43年4月に当八幡宮総代に就任し、平成元年には総代長に推され爾来18年余に亘りその任を全うし、その間第11回遷暦大祭の大鳥居建設、御大典記念大狛犬建立、また県下にもまれな両翼殿有する神楽殿建築等々に多大なるご尽力をされました。そして過日の総会に於いて退任の意を表され辞任いたすこととなり、後任として清水亨氏が推挙され役員世話人一同の賛同をいただき、新総代長に就任されました。

小林亮氏の長年のご奉任に感謝申し上げますとともに、清水亨新総代長がご健勝にてご活躍くださいますようご祈念申し上げます。

相模中央氏子総代会 神社視察研修会実施

相模中央支部管内九十八社の氏子総代で組織されている相模中央氏子総代会(小林亮会長、亀ヶ池八幡宮総代長)が、去る六月四日、約二百名の各神社総代・神職の参加のもと実施されました。

この研修会は当管内神社の中から二社もしくは三社を選定し、参拝研修を行っています。三十二回目を迎えた本年は、県内神社に目を向け二社を参拝しました。当日は晴天に恵まれ、浜風爽やかに吹く真鶴の地に鎮座する貴船神社、二社目は初夏の新緑鮮やかな芦ノ湖に朱色の鳥居浮かぶ箱根神社に参拝、さらに今春完成した宝物殿を見学し、両神社の宮司様より由緒や特色ある祭事等の説明を拝聴し有意義な研修会となりました。



一都七県神社庁 連合会総会開催

冠雪した赤城連峰を見舞かす湯の国ぐんま伊香保温泉にて、群馬県神社庁が当番県として一都七県神社庁連合会総会が開催され、根岸宮司が出席されました。

平年なら二月中旬は雪深く寒い頃ですが、雪が全く無く快晴のもと行われ、第一部総会は神宮遥拝・国歌斉唱に続き、群馬県神社庁長高井浄御氏の歓迎の挨拶、更に本社本庁統理久邇邦昭氏、神宮大宮司北白川道久氏のご来賓のご祝詞を賜わり後、議事・大会宣言文が採択されました。第二部では各神社庁長が「期待している今後の神社界について」のテーマのもとに意見発表され、有意な総会会幕が閉じました。



ご案内

平成十九年例大祭斎行



本年の亀ヶ池八幡宮例大祭は左記のとおり行いますので、お気軽に奮ってご参列ご参拝くださいませう。ご案内申し上げます。

日時……平成十九年九月十五日

式典……午前十時

奉納剣道……午後一時

神代神楽……午後三時

余興……午後六時

お囃子……終日(適宜)



七五三祝

七五三の行事は、子どもの成長を祝う儀式で、古くは髪置(三歳男女)・袴着(五歳男児)・帯直(七歳女児)といい、平安時代より公家の間で行われ、それが江戸時代に入り庶民に浸透しました。当八幡宮



では、十月中旬頃より十一月十五日前後に可愛らしいお子様の七五三祝児無事成長祈願祭を斎行いたします。なお、九月に貸衣装・美容・着付・写真の展示予約会を計画しておりますので、祈願祭・式典同様ご希望の方はご連絡ください。

平成二十年戊子正月祈禱



来る平成二十年は、津久井郡四町が相模原市に合併され新相模原市が誕生して最初の新年となります。この慶賀の正月に初詣くださいませう。

うご案内申し上げます。

商売繁盛・社員安泰・工場安全等のご祈願をされ、益々の会社のご隆昌、また厄除・家内安全・交通安全等のご祈禱をされ、益々のご家庭のご安泰をお祈りください。

なお、会社様

のご祈禱予約受付は十一月より行いますので、当八幡宮社務所までご連絡ください。



神社知識

狛犬 (こまいぬ)

神社にお参りすると参道の両脇に一对の石製の狛犬を見かけますが、

社殿内に置かれる木製や陶製また金属製のものなどもあります。高麗犬との説もあり、その起源は古く渡来信仰に基づくものとも言われ、邪気を祓う意味があります。

狛犬の種類も多く、代表的なものとしては、天満宮は牛、稲荷神社は狐、八幡宮は鳩等があります。

当八幡宮の狛犬は右側の狛犬は老龜を抱く長寿延命の龜であり、左側の狛犬は親子龜を抱く子孫繁栄の龜で全国的にも珍しく、当八幡宮だけの狛犬と言われています。



亀ヶ池八幡宮の狛犬



めづらしい狛犬「日本の100の神社」より



神奈川県神社庁

役員就任報告

去る三月二十九日の神奈川県神社庁臨時協議委員会の役員選出にて、当八幡宮根岸信行宮司は県神社庁責任役員理事に選出され就任し、平成二十二年三月末まで神社庁庁務に専念することとなりました。

また根岸浩行欄宜は二月二十六日、神奈川県神社道青年会臨時総会にて会長を拝命され、県下青年神職たちの尖兵となつて、平成二十二年三月までの二年間を務めることとなりました。

ここに報告申し上げますとともに、神社界発展のために精励いたしますので、氏子崇敬者の皆様にはより一層のご理解ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

石玉垣ご奉賛のお願い

境内外周道路沿いに完成した石玉垣に貴社・貴家のお名前を刻み、永久にご繁盛ご多幸を祈念いたします。氏子崇敬者皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

ご奉賛ご希望の方は、当八幡宮社務所へお申し込みください。



- 奉賛金… 一本三万円也